

様式3号

契約の内容

施設名 福島地方環境事務所

業務名	令和2年度除去土壌再生利用実証事業試験盛土点検・監視等業務（南相馬市小高地区）
契約年月日	令和2年4月1日
契約方法	随意契約
業務場所	特記仕様書記載内容のとおり
業務種別	特記仕様書記載内容のとおり
契約業者名	除去土壌等減容化・再生技術研究組合
契約業者の住所	東京都港区虎ノ門1丁目1番18号
工期（自）	令和2年4月1日
工期（至）	令和3年3月31日
業務概要	本業務は、平成28年度以降、除去土壌再生利用実証事業において再生資材を用いて施工した試験盛土の点検・監視を継続して行い、再生資材を用いた土木構造物への適用と緊急時を含めた管理の在り方の検討に資するデータ取得を目的とする。
契約金額	222,200,000円（消費税込）
予定価格 （随意契約の場合）	222,835,800円（消費税込）

随意契約理由書

施設名：福島地方環境事務所

工 事 名	令和 2 年度 除去土壌再生利用実証事業試験盛土点検・監視等業務（南相馬市小高地区）
契約業者名	除去土壌等減容化・再生利用技術研究組合
随意契約理由	<p>本事業における点検・監視等業務とは、試験盛土の目視点検、動態観測、盛土厚観測、降雨量計測、風速計測、盛土の形成変化が確認された場合の対応、放射線計測、排水設備等付帯設備の管理の他、打合せや見学者の対応、また、再生利用の手引き（案）への提案等であり、これまでの結果を踏まえた上で更に継続して実施する必要がある業務が多く、平成 3 1 年度業務との継続性が求められる。</p> <p>特に放射線計測については、機器の個体差や測定者の違いによる測定誤差を極力なくし、精度の高い測定データを得ることで、試験盛土に係るこれまでの測定結果と比較できるようにする必要があり、測定データの精度の継続性保持の観点からも、除去土壌等減容化・再生利用技術研究組合において他の者が受注することはあり得ない。</p> <p>なお、当該組合がモデル実証試験で施工した試験盛土については、浸出水排水設備等を有し、また、除去土壌に由来する再生資材が土木構造物としての規定を満足するかの評価や、仮置場のバックグラウンド放射線影響に対し、安全性を確保するための覆土を含めた盛土構造による放射線遮へい効果の評価等を考慮して造成した特殊性の高い試験盛土である。</p> <p>以上のことから会計法第 2 9 条の 3 第 4 項、予算決算及び会計令第 1 0 2 条の 4 第 3 号規定に基づき、『除去土壌等減容化・再生利用技術研究組合』と契約を締結するものである。</p>